

5 透析患者の循環器疾患発症要因に関するコホート研究

研究代表者名：坂田清美¹

共同研究者名：藤岡知昭²、中村元行³、西尾信宏⁴、野尻孝子⁵

施設名：岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座¹、岩手医科大学医学部泌尿器科学講座²、岩手医科大学医学部内科学講座³、和歌山県立医科大学医学部公衆衛生学講座⁴、和歌山県日高振興局⁵

和歌山コホートからは、男 447 名、女 648 名、計 1,095 名のベースラインデータを提出した。食事調査、運動調査、心電図、血液検査の全てについて全例提出した。飲酒を止めた者の情報については、基本健診時の問診票を再調査した。発症調査は毎年、地域の 3 病院について、脳血管疾患、心筋梗塞、突然死の病名のついた全てのカルテのチェックを実施している。死亡調査については、保健所と連携し、毎年調査を実施している。2008 年 12 月現在で、33 例の死亡、20 例の脳卒中発症者、6 例の心筋梗塞発症者を確認した。

個別研究では、循環器疾患のハイリスク集団である透析患者を対象とした地域悉皆性コホート研究を実施した。平成 15 年度にカレン研究を開始した際に登録した透析患者である。域内の透析施設は 26 施設で、患者総数は 1,506 名である。参加に同意した者は 1,260 人であったが、病状悪化等の理由により 52 名は追跡できず、最終的に 1,208 名を解析対象とした。

本年度は 4 年間の追跡調査をほぼ終了し、4 年間の累積死亡率と累積罹患率を算出することができた。表 1 に死因別死亡者数と累積死亡率を示す。4 年間の追跡で 378 名の死亡が確認され、累積死亡率は 31.3% となった。死因別内訳では、循環器疾患による死亡が 178 名 (14.7%)、感染症による死亡 94 名 (24.9%)、悪性新生物による死亡 19 名 (5.0%) であった。循環器疾患死亡の内訳をみると、脳卒中が 54 名 (4.5%)、心不全が 35 名 (2.9%)、冠動脈疾患が 14 名 (1.2%) であった。性別にみると男性では累積死亡率が 33.6% と高く、特に循環器疾患の占める割合が 15.9% と高かった。脳卒中による死亡は 4.7%、心不全による死亡は 2.8%、冠動脈による死亡は 1.2% であった。女性では累積死亡率が 27.1% で男性よりも低かった。循環器疾患による死亡は 12.6%、脳卒中による死亡は 4.1%、心不全による死亡は 3.0%、冠動脈による死亡は 1.1% であった。原因疾患別にみると、糖尿病性腎症では、糸球体腎炎に比べ約 2 倍の累積死亡率で、循環器疾患、心不全による死亡が多かった。

表 2 に循環器疾患発症者数と累積罹患率を示す。循環器疾患の発症者数で最も多かったのは心不全で 306 名の発症があり、累積発症率は 25.3% であった。脳卒中の発症者数は 191 名で 15.8% であった。心筋

表 1 死因別死亡者数と累積死亡率 (%)

	対象者数	総死亡	循環器	心不全	冠動脈	脳卒中
総数	1208 (100)	378 (31.3)	178 (14.7)	35 (2.9)	14 (1.2)	54 (4.5)
男性	773 (100)	260 (33.6)	123 (15.9)	22 (2.8)	9 (1.2)	36 (4.7)
女性	435 (100)	118 (27.1)	55 (12.6)	13 (3.0)	5 (1.1)	18 (4.1)
糸球体腎炎	305 (100)	62 (20.3)	29 (9.5)	5 (1.6)	0 (-)	13 (4.3)
糖尿病性腎症	207 (100)	79 (38.2)	44 (21.3)	58 (28.0)	3 (1.4)	11 (5.3)

表2 循環器疾患発症者数と累積罹患率 (%)

	対象者数	心不全	心筋梗塞	脳卒中	脳梗塞	脳出血
総数	1208 (100)	306 (25.3)	46 (3.8)	191 (15.8)	118 (9.8)	62 (5.1)
男性	773 (100)	193 (25.0)	34 (4.4)	112 (14.5)	65 (8.4)	40 (5.2)
女性	435 (100)	113 (26.0)	12 (2.8)	79 (18.2)	53 (12.2)	22 (5.1)
糸球体腎炎	305 (100)	56 (18.4)	3 (1.0)	39 (12.8)	20 (6.6)	17 (5.6)
糖尿病性腎症	207 (100)	58 (28.0)	9 (4.3)	43 (20.8)	30 (14.5)	13 (6.3)

梗塞の発症者数は46名で3.8%であった。脳卒中を病型別にみると脳梗塞が118名(9.8%)、脳出血が62名(5.1%)であった。性別にみると心筋梗塞の発症は男性に多く、脳卒中の中で特に脳梗塞の割合が女性で多かった。原因疾患別にみると、糖尿病性腎症では糸球体腎炎に比べ心不全、心筋梗塞、脳卒中、脳梗塞の何れの発症も多い結果となった。